

# 環境経営レポート

活動期間：2024年3月1日 ～ 2025年2月28日



伊勢湾倉庫株式会社

発行日：2025年6月1日 改訂：2026年3月9日

# 目次

---

1 環境経営方針	1
2 会社概要	2-3
営業品目	
事業の規模	
産業廃棄物収集運搬の許可と実績	
3 環境活動実施体制図	4
環境管理責任者・EA21事務局	
4 環境経営目標	5
5 環境経営計画	6
6 環境経営目標に対する実績値（2024年度）	7
7 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価（振り返り）、 並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画（次年度取組）	8-9
8 環境関連法規の遵守状況	
環境関連の外部からの苦情・その他情報の受付額	10
9 代表者による全体の評価と見直し・指示	11

# 1.環境経営方針

## 環境理念

---

伊勢湾倉庫株式会社は、地球環境の保全は企業の重要な使命であると認識しております。物流業の総合的な事業活動において環境経営システムを構築及び運用し、社員全員が積極的に環境保全に努め、地球に優しい社会作りを目指して活動してまいります。

## 行動指針

---

伊勢湾倉庫株式会社は、事業活動において環境に及ぼす負荷を低減すべく、以下の指針に従って環境保全に努めてまいります。

- ① 当社に適用される法律や条令、当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
- ② 顧客満足度を高める為、安全・品質・環境等のサービスに日々努め、物流効率の向上を図ります。
- ③ 物流業において二酸化炭素排出量を削減し、低炭素社会の実現を目指します。
- ④ 節水に努め、総排水量を削減します。
- ⑤ リサイクル推進・廃棄物排出量の削減に努め、循環型社会を目指します。
- ⑥ 地域社会における環境保全活動に積極的に参加します。
- ⑦ 環境経営システムを定期的に見直し、維持・改善に努めます。
- ⑧ 本方針を全社員に周知し、環境意識の向上を図ります。

改訂日 2021年 6月 1日

伊勢湾倉庫株式会社

代表取締役社長 福永 隆

## 2.会社概要

### 会 社 概 要

会 社 名 伊勢湾倉庫株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 福永 隆  
本 社 所 在 地 〒510-0059  
三重県四日市市尾上町3番地の1  
Tel : 059-353-2231 (代)  
Fax : 059-351-8170  
設 立 年 月 日 1948年6月16日  
資 本 金 払込資本金 25,000万円  
活動期間：2024年3月 ～ 2025年2月



### 事 業 活 動

- ・ 倉庫業
- ・ 港湾運送事業
- ・ 貨物利用運送事業
- ・ 一般貨物自動車運送業
- ・ 清涼飲料水の製造・販売
- ・ 産業廃棄物収集運搬業

### 事 業 の 規 模

売 上 高 6.196百万 (2024年3月～2025年2月) : 2024年度  
従 業 員 202人 (正社員 131人 派遣社員 71人)

事業所	住 所	延床面積(m <sup>2</sup> )	施設(倉庫)面積(m <sup>2</sup> )
・ 本 社	〒510-0059 四日市市尾上町3-1	935.50	
・ 霞 事 務 所	〒510-0011 四日市市霞2丁目1-1	163.00	16300.00
・ 輸 出 入 貨 物 部	〒510-0951 四日市市小古曾東3丁目916-	116.00	7800.00
・ 輸 送 部	〒510-0051 四日市市千歳町4-10	148.00	
・ 四日市通運営業所	〒510-0093 四日市市本町3-85	45.00	
・ 千歳総合事務所 (サイロ)	〒510-0051 四日市市千歳町1-60	6645.00	8861.80
( 曙 )	〒510-0051 四日市市千歳町34	70.00	
	〒510-0056 四日市市南起町2838	24.00	27500.00
・ 霞 営 業 所	〒510-0011 四日市市霞2丁目12番地	226.00	16300.00
・ 霞営業所 川越倉庫	〒510-8111 三重郡川越町当新田668	330.00	12800.00
・ 名古屋港営業所	〒490-1446 愛知県海部郡飛島村東浜1-8	60.00	3500.00
・ いなべ営業所*	〒511-0276 いなべ市大安町石樽下227-2		
・ 販 売 促 進 課	〒510-0052 四日市市末広町8-41	390.00	
・ 四日市出荷センター	〒510-0051 四日市市千歳町22		29800.00

9152.50 122861.80

\*いなべ営業所は2024年7月から稼働開始

132014.30

## 産業廃棄物収集運搬の許可

	許可番号		年月日	廃棄物の種類（積替え保管を含まない）
三重県	2402067807	許可日	令和2年3月16日	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃油、廃プラスチック、鉄くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず等、がれき類、ばいじん
		有効期限	令和7年2月28日*	

\*更新申請済

許可日	令和7年3月19日
有効期限	令和12年2月28日

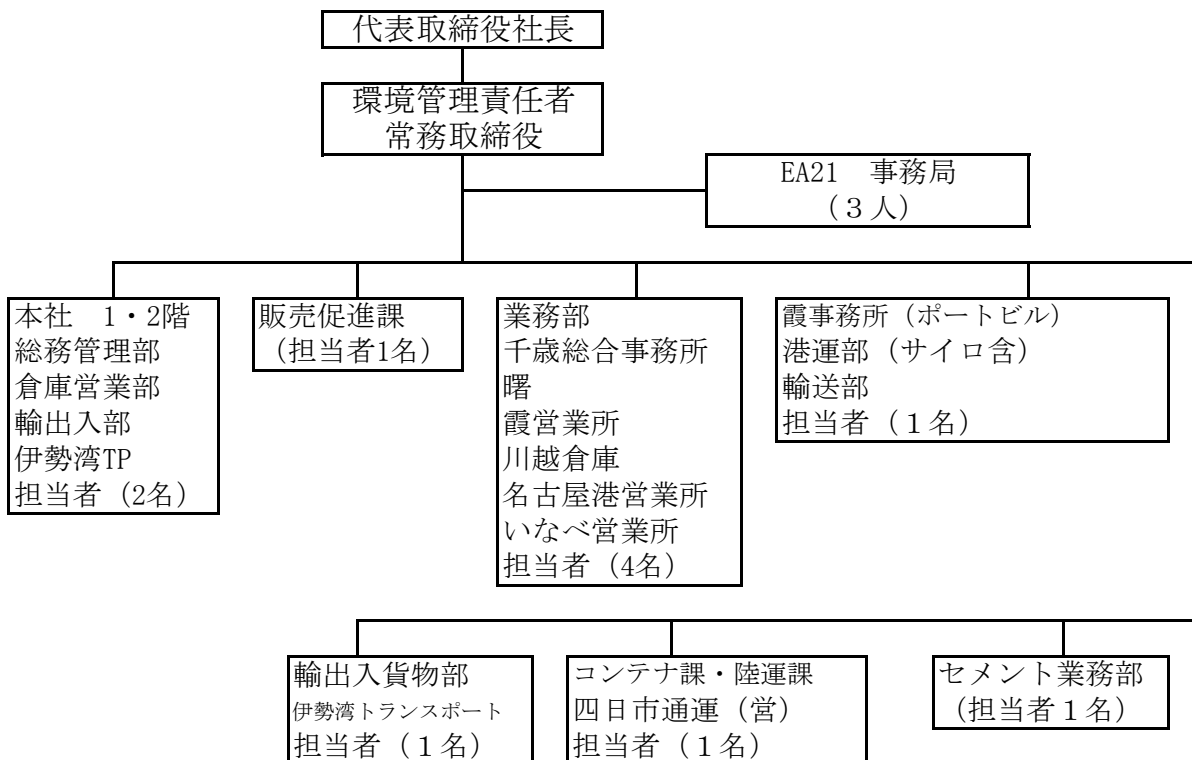
収集運搬車両                      平車                                      1台

   ウイング車                              1台

収集運搬量                              2023年3月～2024年2月：0t

   2024年3月～2025年2月：0t

### 3.環境経営実施体制図



担当	役割・責任・権限
取締役社長	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の作成</li> <li>環境管理責任者の任命</li> <li>資源（人員・設備・費用等）の準備</li> <li>代表者による全体の評価と見直し</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>代表者に代わり、環境経営システムを構築・運用し、その状況を代表者に報告する。</li> </ul>
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境関連文書及び記録の素案作成、管理等</li> </ul>
各担当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>EA21取組実施、実施状況確認・記録・事務局への提出</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の理解と、環境への取組みの重要性を自覚する。</li> <li>決められたことを守り、自主的かつ積極的に環境活動に参加。</li> </ul>

### 環境管理責任者・EA21事務局

環境管理責任者	専務取締役 飯田 重一
EA21事務局	総務管理部 次長 藤井 靖裕
TEL : 059-353-2231	総務管理部 総務管理課 小林 裕司
FAX : 059-351-8170	伊勢湾トランスポート 部長 笠原 昌樹

### 環境活動の対象範囲

- 前記の全ての事業所（・印）、全ての事業活動  
但し、いなべ営業所は2024年7月以降稼働の為、対象範囲拡大は2026年度中に行う。

## 4.環境経営目標 2024年～2026年（3カ年目標）

2023年度実績を基準として2024年度から2026年度までの目標を以下の通り設定した。

2023年度＝2023年3月～2024年2月

環境経営方針	実施項目		単位	2023年度 基準	2024年度	2025年度	2026年度
				実績値	目標	目標	目標
二酸化炭素 排出量の削減	二酸化炭素 総排出量 の削減	総量	kg-CO2	2,401,143	2,377,132	2024年度実績 の-1%	2025年度実績 の-1%
		売上高当	kg-CO2/ 百万円	378.55	374.76		
	電力使用量 の削減	総量	kWh	2,609,829	2,583,731		
		売上高当	kWh-CO2/ 百万円	411.45	407.34		
	軽油使用量 の削減	現場	ℓ	46,701	46,234		
		貯蔵施設		240,540	238,135		
	ガソリン使用量の削減		ℓ	39,199	38,807		
	LPG使用量 の削減	事務所	m <sup>3</sup>	1,013	1,003		
		現場	kg	110,700	109,593		
		売上高当	kg-CO2/ 百万円	17.45	17.28		
灯油使用量の削減		ℓ	861	852			
総排水量の削減	水道水使用量の削減		m <sup>3</sup>	10,116	10,015		
廃棄物の削減	廃棄物排出量 の削減	一廃	t	2.87	2.84		
		産廃	t	232,625	230,299		
環境保全活動 への参画と推進	各事務所周辺の清掃 (3ヶ月に1度)		回	4	4	4	4

※軽油は現場（市場）調達と自社所有貯蔵施設からの給油の2ケース。

※PRTR法の対象化学物質の使用はありません。

※2023年度の基準年度の総売り上げ： 6,343 百万円

※CO2排出係数は中部電力の 0.421kg-CO2/kWh を使用しています。（2023年度、調整後）

## 5.環境経営活動計画（年間）

環境経営方針	実施項目	取組事項	月別活動計画											
			2024 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2025 1月	2月
エコ21社内巡回	活動・姿勢の画一化	各事業所のエコ活動の現状把握	1回/月パトロール巡視											
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量を削減	冷暖房の温度設定	継続運用		見直し・改訂		継続運用		継続運用					
		・点検表を作成												
		不要照明の消灯を徹底	継続運用		見直し・改訂		継続運用		継続運用					
		・点検表を作成												
	LED蛍光灯に取替え	節電協力を提示して節電推進を図る	継続運用		見直し・改訂		継続運用		継続運用					
		・全社員への節電徹底の指導												
	LPG使用量の削減	フォークリフトのエコ運転の徹底	継続運用		見直し・改訂		継続運用		継続運用					
		・全社員へのエコ運転徹底の指導												
ガソリン使用量の削減	ガソリン車のエコ運転の徹底	継続運用		見直し・改訂		継続運用		継続運用				評価・見直し		
	・全社員へのエコ運転徹底の指導													
軽油使用量の削減	軽油車のエコ運転の徹底	継続運用		見直し・改訂		継続運用		継続運用				評価・見直し		
	・全社員へのエコ運転徹底の指導													
総排水量の削減	水道水使用量の削減	節水の呼びかけ	継続運用		見直し・改訂		継続運用		継続運用				評価・見直し	
		・全社員への節水徹底の指導												
廃棄物の削減	廃棄物排出量の削減	ゴミの分別化	継続運用		見直し・改訂		継続運用		継続運用				評価・見直し	
		・全社員へのゴミ減量徹底の指導												
		・ゴミの重量を計測												
		私物一般ごみの削減を図る	継続運用		見直し・改訂		継続運用		継続運用				評価・見直し	
地域貢献	事務所周辺の清掃	事務所周辺の清掃を行う	清掃活動		清掃活動		清掃活動		清掃活動				清掃活動	
		(月に1回)												
	霞ヶ浦エコ活動の参加	霞ヶ浦エコ活動 (KIEP'S) に参加	随時参加											

## 6.環境経営目標に対する実績（2024年度）

2023年度実績を基準として2024年度から2026年度までの目標を以下の通り設定した。

2024年度＝2024年3月～2025年2月

環境経営方針	実施項目		単位	2023年度基準	2024年度			
				実績値	目標	実績値	前年度比	評価
					2023年度実績の-1%			
二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素総排出量の削減	総量	kg-CO2	2,401,143	2,377,132	2,377,101	-1.0%	○
		売上高当	kg-CO2/百万円	378.55	374.76	383.65	+7.3%	×
	電力使用量の削減	総量	kWh	2,609,829	2,583,731	2,745,869	+5.2%	×
		売上高当	kWh-CO2/百万円	411.45	407.34	443.17	+7.7%	×
	軽油使用量の削減	現場	ℓ	46,701	46,234	46,835	0.0%	○
		貯蔵施設		240,540	238,135	265,895	-10.5%	○
	ガソリン使用量の削減		ℓ	39,199	38,807	38,284	-2.3%	○
	LPG使用量の削減	事務所	m <sup>3</sup>	1,013	1,003	927	-8.5%	○
		現場	kg	110,700	109,593	106,688	-3.6%	○
		売上高当	kg-CO2/百万円	17.45	17.28	17.22	-2.3%	○
灯油使用量の削減		ℓ	861	852	1,038	+20.6%	×	
総排水量の削減	水道水使用量の削減		m <sup>3</sup>	10,116	10,015	11,022	+9%	×
廃棄物の削減	廃棄物排出量の削減	一廃	t	2.87	2.84	3.23	+12.5%	×
		産廃	t	232,625	230,299	196,086	-15.7%	○
環境保全活動への参画と推進	各事務所周辺の清掃（3ヶ月に1度）		回	4	4	4	4	○

※軽油は現場（市場）調達と自社所有貯蔵施設からの給油の2ケース。

※PRTR法の対象化学物質の使用はありません。

※2023年度の基準年度の総売り上げ： 6,343 百万円

※2024年度の基準年度の総売り上げ： 6,196 百万円

※CO2排出係数は中部電力の 0.421kg-CO2/kWh を使用しています。（2023年度、調整後）

7.環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価（振り返り）、  
並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画（次年度取組）

（2024年度）（1）

○二酸化炭素排出量			2024年度の振り返りと次年度に向けての取組み
2024年度 目標値	総量	2,377,132kg-CO2	二酸化炭素排出量の数値増加の要因としては、いなべ営業所の開設が大きく、CO2排出量の前年度比率も同じような伸びを示しています。また、売上高百万円当たりの排出量も多くなり、電力並びに燃料の使用量が伸びた半面、売上額が減少し、その幅が広がった為、前年度を大きく上回ったと考えます。
	売上高 当り	374.76kg-CO2/百万円	
2024年度 実績値	総量	2,377,101kg-CO2	
	売上高 当り	406.25kg-CO2/百万円	
○電力使用量			2024年度の振り返りと次年度に向けての取組み
2024年度 目標値		2,583,731kwh	電力の使用量が大幅に上がっているのは、6月から稼働したいなべ営業所の施設における電力量と考えられます。今期のいなべ営業所の電力量は、196,546kwhであり、2024年度実績値の数値から、此方の数値を引くと2,549,323kwhとなり、今期目標として掲げた数値よりも34,408kwh低く抑えられていることになり、昨年の施設での比較であれば、目標を達成していると考えられます。次年度はいなべ営業所の数値比較を検討材料として進めていくと同時に各主要な事業所の数値を比較検討していきたいと考えています。
2024年度 実績値		2,745,869kwh	
○軽油使用量			2024年度の振り返りと次年度に向けての取組み
2024年度 目標値	現場	46,2340	軽油の使用量に関しては数値から見るとは、横ばいとして観られていますが、部署ごとの比較数値を見る限りでは、輸送部において、増加傾向が見られ、また倉替えて用いる4tの使用量が抑えられていると同時に、土場作業に用いるシャベルローダーの適切な使用運転が良かったと考えられます。次年度も売上増の部門で使用する燃料への使用方法よりも、売上が発生しない倉替えなどの削減を検討したいと考えています。
	貯蔵施設	238,1350	
2024年度 実績値	現場	46,8350	
	貯蔵施設	265,8950	
○ガソリン使用量			2024年度の振り返りと次年度に向けての取組み
2024年度目標値		38,8070	ガソリンの使用量については、低燃費の社用車の導入などもあり、若干ではありますが、削減することが出来ています。次年度も引き続き、エコ運転として、急発進、アイドリングストップ等の啓発をしつつ、取り組んで行く考えです。
2024年度実績値		38,2840	
○LPG			2024年度の振り返りと次年度に向けての取組み
2024年度 目標値	事務所	1,003kg	リフトガスの使用量については、倉庫での適切な荷物の管理出来ており、新設のいなべ営業所が稼働しましたが、特に輸出入貨物部の削減率は大きく、荷捌き場での自車分離を進める中でのカウンターリフトからハンドリフトへの変更を行うなど、安全面、作業効率を目指した中でのガスの使用量の現象が見られた。次年度の目標としては引き続き作業の効率化を進める中での削減効果を進めていきたいと考えています。
	現場	109,593m3	
2024年度 実績値	事務所	927kg	
	現場	106,688m3	

7.環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価（振り返り）、  
並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画（次年度取組）

（2024年度）（2）

○灯油			2024年度の振り返りと次年度に向けての取組み
2024年度目標値		8520	灯油の使用量に付きましては、使用する施設が限られており、増加に転じた内容に関して、確認すると比較対象になりました年度のセメント業務部における3月、4月の使用量の記載がなく、その当時、ボイラーの取り換えが行われていたとの確認があり、今後は今回のような案件はないと考えますので、次年度から2024年実績値により近い数値が検知すると思えます。
2024年度実績値		1,0380	
○水道水			2024年度の振り返りと次年度に向けての取組み
2024年度目標値		10,015m <sup>3</sup>	水道水の使用量の増加に関しては、主としてアクアクララにおけるミネラルウォーターの製造の増加によるものであり、実際に、昨年（2023年度）と年間対比で見ると、1.12倍使用量の増加が見込めたものの顧客の増減は昨年と変わらずのため、要因としては温暖化の影響で、暑い日が長引いたのではないかと考えます。
2024年度実績値		11,022m <sup>3</sup>	
○廃棄物			2024年度の振り返りと次年度に向けての取組み
2024年度目標値	一廃	2.84t	廃棄物に関しては、産廃業者よりゴミを廃棄する周囲に関して見直しが一昨年あり、殆どが一般廃棄物として処理する貨物に分類する等あり、その影響が数字に反映されたと考えます。また、産廃（産業廃棄物）の減少に関しては、荷主側の引き取りもあり、減少したと考えます。
	産廃	230,299t	
2024年度実績値	一廃	3.23t	
	産廃	196,086t	
○環境活動保全活動 2024年度を振り返って			
<p>いなべ営業所が7月から本稼働しており、その分だけ二酸化炭素の排出量は多くなってはいるものの比較的、各事業所において業務の効率化を行っていただき、使用するフォークリフトのLPGガスの使用量が削減出来ていたことや、電力についても減少していることから、作業現場での取組がそのまま、二酸化炭素の排出削減に大きく関与していることが分かりました。</p> <p>また、最近、廃棄物に関しては、荷主側の引き取りが増えているなど、顕著に数字でも分かるように今後の取組</p>			
<p>作業現場での業務の効率化ならび、安全への対策を行うことで、二酸化炭素の排出削減が期待され今後の取組としては、引き続き、現場での作業効率をはかり、それに加えて、社用車のエコ運転をするとともに、施設（事務所・倉庫）のLED化を進め、また、大型の低温機器などの更新をするなど、エコ活動への取組を行っていく予定で御座います。</p>			

## 8.環境関連法規の遵守状況

2024年 4月1日 遵守確認  
藤井 靖裕

適用法	該当する要求事項	遵守状況
浄化槽法	浄化槽管理者の義務 定期検査・点検・清掃	○
廃棄物処理法	産業廃棄物収集運搬業 産廃処理業者との契約・許可証写し保管 産業廃棄物の保管基準 マニフェスト交付・保管 産業廃棄物管理票交付等状況報告書	○
消防法	危険物保管の指定数量以上の許可申請	○
毒物及び劇物取締法	毒物劇物取扱責任者	○
PCB廃棄物特別措置法	P C B 廃棄物の保管及び処分状況等届出書	○
家電リサイクル法	対象機器の適正処理	○
フロン排出抑制法	業務用エアコンの簡易点検実施	○
	第一種特定製品の簡易点検	○
自動車リサイクル法	使用済車の適正処理	○

環境関連法規に関して調査・点検した結果、環境に関する法規について遵守しています。

訴訟に関しては過去3年間ありません。

## 環境関連の外部からの苦情・その他情報の受付結果

過去3年間、環境に関する苦情・要望はありません。

## 9.代表者による全体の評価と見直し・指示

【実施日】：2025年3月8日（金）

【結果】：昨今、環境活動への意識が広がりを見せる中で、当社もエコアクション21活動に取組み、運用している中で温暖化による夏場の特に電力消費に関して注視する機会が多く、また、電力費用の高騰もあり、二酸化炭素の排出量を抑えるための施策として、リフトのバッテリー車導入及び、低温倉庫における省エネ対応の空調機の代替、また、事務所、倉庫のLED照明への取替も行いながら消費電力の削減に取り組んできました。今後の新たな取組としては、二酸化炭素排出係数の削減として、排出係数が少ない電力会社への移行等も考え視野に入れながら検討していく予定にあります。また、今期のリフトガスの減少効果にみられるような業務の効率化を行うことで、年間を通じての取組の効果の再確認できたことは当社において次に繋げらる事例の一つになったとも考えています。

### 【各項目の評価と指示】

環境経営方針	変更の必要性	有り	無し
環境経営目標	変更の必要性	有り	無し
環境経営計画	変更の必要性	有り	無し
実施体制	変更の必要性	有り	無し